



小田原市立芦子小学校学校だより

あしこだより

令和8年度 10月号
発行者:石井 美佐子



R8 児童会スローガン「あいさつとやさしさあふれる 成長し続ける芦子小にしよう」

令和8年度の後期が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様には、いつも温かく見守ってください、感謝申し上げます。引き続き応援いただければありがたく存じます。

さて、10月24日にスポーツフェスティバルを予定しています。今年度のスローガンは「つなげ、成長のボタン!」。昨年の自分、昨日の自分を少しでも越えられるように、励ましていきます。全校で協力して一つの大きな行事をつくる経験から、子ども達は成長します。特にリーダーの6年生にとっては、大きく成長する機会です。そんな6年生の姿をみて、「来年は自分たちが」という自覚が、5年生に芽生えることを願っています。それぞれの学年としての成長を、一人ひとり個々としての成長を明日につなげていくことができるよう努めて参ります。



開会式のはじめの言葉は1年生が担当します。

令和8年度の後期がスタート!

それぞれのめあてに向かって一歩ずつ取り組んでいきます。

後期の始業式では児童会のテーマに沿った話をしています。今年度は宮澤章二さんの詩『行為の意味』の一節をもとに「やさしさ」について話しました。

皆さんの周りには、「あの人はやさしい人だ」と思う人がいると思います。クラスの中にも、学年の中にも。どういう人を「やさしい人」と思うのでしょうか?私は、自分の心の中にある「やさしさ」を相手に届けられる人ではないかと思っています。心の中の「やさしさ」を形にして、誰かのために行動している人ではないかなと思います。

普段生活する中で、困っている人を見て「困っているのかな」「助けたいな」と思うときがあるでしょう。皆さんの中にある「やさしさ」です。でもそのやさしい「思い」は、心の中にあるだけでは、相手には伝わりません。ではどうしたらいいのでしょうか?やさしいという「思い」に2文字を付けたすだけで、やさしい「思い」が伝わります。それは「思いやり」です。「思いは見えないけれど、思いやりは見える」という言葉を聞いたことがありますか?

○勇気を出して「大丈夫?」「手伝おうか?」と声をかけてみる。

○朝、友達や先生の顔を見て、笑顔で「おはよう」と挨拶をする。

○トイレのサンダルが散らかっていたら、次に使う人のためにそろえておく。

○ゴミが落ちていたらさっと拾って捨てる。

○当番や係の仕事を最後までやる。

「行為の意味」 宮澤 章二

あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも 他人にも心は見えない
けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
心も思いも、初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ

○友達が失敗してしまったときには、笑ったり責めたりするのではなく、「大丈夫だよ。次があるよ」と声をかける。

○誰かに親切にしてもらったときには、「ありがとう」と伝える。

こうした、誰かのことを考えた、小さな言葉や行動が「思いやり」です。「思いやり」は目に見えます。誰かが必ず見えています。「思いやり」というのは、皆さんの心の中にある「思い」を誰かに届けることです。やってみる事です。

特別に大きなことをする必要はありません。皆さん一人ひとりが、今、自分にできることを考えて、行動することが大切なのです。

私の話の後、2・4・6年生の代表の児童が、前期のふり返りと後期に向けての目標を発表しました。児童会テーマの「あいさつ」「やさしさ」「成長」を感じた言葉もありました。（下線部）

後期に頑張りたいことは三つあります。・・中略・・そして、みんなから「すごいね」と言ってもらえるようなカッコいい2年生になりたいです。（2年）

今までがんばったことは学習面で二つ、生活面で一つあります。

学習面での一つ目は、発表している人の話をよく聞くことです。自分の考えと比較して、どこが違うか考えることができるようになりました。二つ目は、学んだことを日常生活でいかすことです。例えば、夏休みの旅行先で星を見たときに、理科で学習した星座を家族に教えました。生活面では、自分から進んであいさつをしたことです。あいさつをしたら返してくれてうれしかったです。

今後頑張りたいことは二つあります。一つ目は字をきれいに書くことです。急いでいる時でも読む相手のことを考えて字を書きたいです。二つ目は、困っている人を助けることです。足を怪我した時、いろいろな人に助けてもらい、やさしさを感じました。そのやさしさを返すためにも、できるだけ困っている人を助けていきたいと思います。（4年）

前期に集中的に取り組んだことが二つあります。・・中略・・後期は、芦子小学校卒業に向け、そして中学校進学に向け、まず先ほど言った計算に良く取り組み、そして他の教科にも進んで取り組んでいきたいです。そしてもう一つ中学校に向け、私は、より時間の管理や忘れ物をなくしていく努力をします。これは特に気をつけていきたいことです。また、人の話をよく聞き、相手の気持ちを考えて、自分の考えを言います。最後に、周りの人を大切にします。これは皆さんにもやってほしいことです。周りの人を大切にすることは、すごく大切なことだからです。私は芦子小学校6年生として、しっかりと誇りをもって卒業式を迎えたいと思います。（6年）

「こんな自分になりたい」と思うことは「成長」の源だと思っています。「〇〇したい」「こんなふうになりたい」という子ども達の「たい」を大切にしていきたいです。6年生は卒業に向けての取組も始まっていきますが、子ども達が自分のめあてに向かって取り組めるよう、そして芦子小学校の卒業生であるということに誇りをもてるようサポートして参ります。



4年生は総合的な学習の時間に、「地域のためにできること」をテーマに学習してきました。

10月19日に芦子地区のまちづくり委員会の皆様にご来校いただき地域の安全や環境について自分たちが気づいたことや困っていることを聞いていただきました。小学生にもできることはありますね。

学校HPでも紹介していますのでご覧くださいませ幸いです。